

【速報版】 校正前原稿のため公式な記録ではありません。

---

本日の議事日程は次のとおりである。

令和6年和泉市議会第2回定例会議事日程表（第4日）

（6月26日）

日程	種 別	番 号	件 名	摘 要
1			会議録署名議員の指名について	
2			一般質問について	

---

本日の会議に付した事件

日程第1～日程第2まで

---

（午前10時00分開議）

- 石原日出子議長 おはようございます。議員の皆様には御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席議員は24名全員出席しております。

---

◎開議宣告

- 石原日出子議長 これより本日の会議を開きます。

---

◎議事日程の報告

- 石原日出子議長 本日の議事日程はお手元に御配付のとおりでありますので、よろしく御了承願います。

---

◎会議録署名議員の指名について

- 石原日出子議長 それでは、日程審議に入ります。

日程第1「会議録署名議員の指名について」を議題といたします。

本日の会議録署名議員には、1番・原 重樹議員、13番・末下広幸議員、以上2名の方を指名いたします。

◎一般質問について

- 石原日出子議長 日程第2「一般質問について」を行います。

なお、写真撮影の申出がありました議員には、これを許可いたします。

それでは、通告書が提出されておりますので、順次発言を許可いたします。

まず、議席番号6番・森 久往議員。

(6番・森 久往議員登壇)

- 6番 森 久往議員 おはようございます。6番・五月会、森 久往、通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

質問内容につきましては、先日、保育士さんの研修に参加させていただきました。そこで、保育士の研修について、もう一つは業務についてお聞きしたいと思います。

まず初めに、この保育士さんの研修、1年間でどれぐらい行われているか、そしてまた、テーマにつきましては、どのように決められているか、まずそれをお聞きします。

以後の質問に際しましては、質問席よりさせていただきます。よろしくお願いいたします。

- 石原日出子議長 教育・こども部長。

- 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

市が主催する保育士向けの研修については、年に12回程度開催しており、このほか大阪府や事業者が主催する研修についても各園から参加希望者を募り、参加しております。

なお、令和5年度では、愛着障がいとその対応について、対話する保育、児童の人権についてなどをテーマに研修を実施しており、研修のテーマは、現場の保育士から希望するテーマを募った上で、現場で課題となっていることや保育の質の向上に必要な研修内容を市で検討し選定しております。

以上です。

- 石原日出子議長 森議員。

- 6番 森 久往議員 はい、ありがとうございます。

保育士が希望する研修のテーマ、それについてお聞きします。

- 石原日出子議長 教育・こども部長。

- 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

保育士が希望するテーマは様々なものがありますが、保育の環境づくりや児童の心理学的理解と発達支援に関するもの、愛着障がい、家庭支援、保護者対応といったものが上げられます。これらのテーマは、保育士が保育現場で接することが多い課題に関するものであるこ

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

とから、課題に対応するための知識を習得したいという思いがあるものと認識しております。  
以上です。

○ 石原日出子議長 森議員。

○ 6番 森 久往議員 はい、ありがとうございます。

冒頭お話ししましたこの研修、どのような研修かといいますと、発達障がいの課題を持つ子どもたちの支援という、そういうテーマでございました。大学教授を講師に迎えて、そして研修を受けたわけですけど、35名の保育士さんが参加されておりました。

そして、大体2時間の研修であったわけですが、私そこへ参加させていただいたんですけども、その内容については、やっぱり発達に課題のある子どもたちの支援、そしてその特性、発達に特性のあるその特性がどんなものかというのが詳しく話をされておりました。そして、それに対する支援をどうしていくか。

もう一つは、私はちょっとそれを確認して、私も発達特性のある子どもたちと結構会うわけですが、この発達特性というのは非常に多いです。種類と言ったらおかしいですけども、いろんな特性がありまして、それをこの保育士さんが、果たしてこれだけの特性に対して、どういうふうに対応するんだろうかということをまず感じました。

私が例えば自分自身に点数をつけるとしたら、100点満点で10点しか取れないなど、そういうふうに思いました。そういった中で、やっぱり保育士さんが非常に、自分の立場もそうだし、ハードルが高いというふうに思います。それに関しまして、加配の保育士の配置、これについてお聞きしたいと思います。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

加配の保育士については、身体障害者手帳や療育手帳等の交付を受けている、またはそれと同程度の障がいを有している児童について、市が設置する特別支援児保育審査会での審査において、特別な支援が必要と市が認める児童について配置しております。

以上です。

○ 石原日出子議長 森議員。

○ 6番 森 久往議員 はい、ありがとうございます。

発達の障がいの課題を持つ子どもに対応、非常にこの辺はハードルがあると、先ほどもお話ししましたが、また、それに関して親からの、親の立場からの意見を申してきたり、一つのクレームになったりします。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

そんなときに、保育士さんが自分自身でどのように対応していいかということ非常に悩んでると思うんです。そんなときに、例えば直面したときにフォローする、そういうフォローの仕組み、行政の中にあるのかをお聞きします。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

課題に直面した保育士をフォローする体制としましては、現場で接することが多い課題を研修で取り上げることにより、保育士の課題に対する知識や解決のためのスキルを習得する機会を設けていることに加え、園長や副園長が随時、園内を巡回し、各部屋での保育の様子を見守ることにより、保育士が抱えている課題を把握し助言等を行っております。

その他1人での対応が難しい課題については、園長、副園長の指導の下、関係する職員全体で対応するものですが、必要に応じてこども未来室に配置されている保育士も加わり、対応を行っております。

加えて、令和5年度よりこども未来室に臨床心理士を配置し、課題があると思われる児童との面談や、特別支援児保育審査会での審査などに従事することに加え、春と秋には保育園等への巡回相談の場で、臨床心理士から保育士等に児童への支援方法等の助言を行い、保育士の負担軽減に努めているところです。

以上です。

○ 石原日出子議長 森議員。

○ 6番 森 久住議員 はい、ありがとうございます。

業務多忙、その中で、保育周辺の業務の削減、そのような形のものがあるのかお聞きします。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

令和5年度から公立保育園及び民間園において、保護者の負担を軽減するために、使用済み紙おむつの園での処分を開始いたしましたが、これにより園での使用済み紙おむつの保管や、保護者への引渡作業がなくなったことにより、保育士の負担軽減にもつながりました。

また、民間園に対しては、保育体制強化事業、保育補助者雇い上げ強化事業として、保育に係る周辺業務や保育士の手伝いを行う人材を雇用するための費用の補助を民間保育所運営費補助金により行っており、保育補助者雇い上げ強化事業の補助については、令和5年度は民間園26園中21園が活用しております。

以上です。

○ 石原日出子議長 森議員。

○ 6番 森 久往議員 はい、ありがとうございます。

最後に、意見を申し述べたいと思いますが、保育士へのフォロー体制、これの強化をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、先ほどの御答弁の中に、紙おむつのお話がありました。この件につきましては、服部議員、そして遠藤議員、質問されてます。そのほかたくさん議員からその御意見いただいたというふうに私も認識しています。前向きに進んでよかったなというふうに思っております。

最後に、まとめをしたいと思ひんですが、本日の質問は、保育士の立場からの質問でございました。しかし、あと園児からの立場で少しお話をさせていただいて、最後まとめたいというふうに思っております。

実は私67歳になりますが、63年前、昔は2年保育とか3年保育いうて幼稚園という言葉をよく使いました。保育ですけど幼稚園という言葉を使って、その幼稚園で起こったことを鮮明に今でも覚えてるんです。どういうことかといいますと、幼稚園に行くときに、通うときに道を歩いていくと蛇が死んでたんですよ、蛇が。その蛇が死んでることによって、自分がそれ以上進めないんです。じっと止まってるんです。そうすると、通りがかったお婆さんが、もうその蛇死んでるで、こっちから通りや言うて園へ通うんです。園へ行ったらブランコがありました。私も自分がブランコ乗りたいというふうに思ってますから、先、乗っている人のブランコ、下りれ、俺が乗るんやというようなことを言ったりしてるんです。自分がしたいと思うことを優先させてきたんです。

昼寝のときありますよね。昼寝のときに保育士さんがおって、その横ですぐ寝ようとするんですけど、保育士さんのお乳を触りました。触ってましたわ。もう触らないといてられへんぐらいの状況やった。トイレもそうなんです。今思うと大人から見ると変なんですけど、トイレへ自分が行けるようになったときに、ほかの人はどうなんやろうとトイレをのぞきに行くようなことが自分の行動であつたんですよ。

もっと一番強力なのは、窓から、隣の酒屋さんがあつたんですけど、窓からおしっこしてました、窓に上って。それ今考えたら、えっと思ひんですけど、そのときは好奇心が分かりませんが、そういうようなことがあつたわけです。

1歳から5歳までいうたら社会性も持たない本能だけで生きてて、何かに意識したらそれ

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

をやってしまうと。一番やっぱり大きな問題やったのは、授業が終わって休憩になる間に職員室からベルを鳴らす、ジャーッとベル鳴らすんです。ベルが鳴ったら休憩やから皆外へ遊びに行きますよね。また、次のベルで入ってくるんですが、その様子を見てて、私が遊んでるときに職員室にちょっと高いところがあったんですけど、台の上へ乗ってベルを押したんです。そしたら子どもが入ってきますよね。ベルを押したら子どもが入ってくんねんということを確認したかったんです。そしたら、その保育士さんが、そのときは園長さんでしたけど、園長さんはあまり私に怒らなかつたんです。怒らずに、いや、今のは間違っって押したんや言うて、また遊び出したんです、園児が。そのことを今63年も、もっとたつて63年もたつて思い出すんですけど、やっぱり本能で生きてるその時代に、一旦何かをさす、思ったことをさす、それで駄目やったら叱らないかん。でもそれをしないうちにそれはあかんでみたいな形で押さえつけられると、非常に難しいなというふうに今、痛感しております。

市長も私と同年代ですから、市長の幼稚園の時代、多分そんなところあったかなと思います。もっとひどかつたん違うかなと私は思うわけですけども、しかし、そのことの重要性を今になって感じてます。そしたら、保育士さんがどういうふうに研修を受けてどうするかいうたら、これが駄目やよと言うだけで、例えば物を進めるとしたら、それは後々大きな問題になるんじゃないかなというふうに思っております。

2日ほど前、高校生ですが、ちょっとの発達ある子なんですけど、下の1メートルの床のマットが組み合わされてるところがあつてこうなつてるんですけど、その高校生が、その横に棒があつたんです。棒を組み合わせてる、重なつてる、そこへ棒でつついてるんですよ。何で、おい、何してんねや、それしたらちぎれるで言うたら、いや、ちぎれるか確認してると言うんですよ。これ、昨日、おとついの話なんです。この質問をする前、質問した後からの話だけど、やはり自分の思いを一旦はして、それをさせないような流れというのは必要やと思います。

私、幼稚園の話をしましたけど、窓からのおしっこは1回で、してません。ベルも1回で、その後はしてない。こういうことが非常に重要やなということで、今日は自分の経験のお話をさせていただきましたけど、保育士さんの研修を受けて、そういうふうなことを痛感しました。

以上です。ありがとうございました。

○

○ 石原日出子議長 次に、議席番号22番・大浦まさし議員。

(22番・大浦まさし議員登壇)

- 22番 大浦まさし議員 22番・市民未来の会、大浦まさしでございます。通告に従い一般質問をさせていただきます。

今日は、先ほど森議員からおしこの話が出ましたけども、学校トイレ洋式化の話を引き続いてさせていただきたいと、続き物のシリーズになっておりますが。今日は、学校トイレの洋式化を急いでいただきたいことについて、質問をさせていただきます。

P T Aの皆さんから、特に役員の皆さんから、学校トイレの洋式化が進んでいないのではないかというようなお話をいただいております。これにつきましては、今に始まったことではなくて、他の議員さん、皆さんのところにも来ている話じゃないかな、各学校の、というところで、そういう話だと思うんですけども、そこで、今回お聞きさせていただくんですけども、学校トイレの洋式化に関する市の考え方、それからまた、現在の洋式化率を教えてください。

次の質問より質問席からさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

- 石原日出子議長 教育・こども部長。
- 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

学校トイレについては、和式トイレを一定数残しつつ、順次、便器の洋式化を図るとともに、衛生面から菌の繁殖を抑制しやすい乾式への改修を行う必要があると考えております。

次に、令和5年度末時点での学校トイレの洋式化率でございますが、小学校61%、中学校54%、義務教育学校70%で、全体では59%となっております。

以上です。

- 石原日出子議長 大浦議員。
- 22番 大浦まさし議員 はい、ありがとうございます。

今、小学校が61%、中学校が54%、そして義務教育学校が70%で、平均が大体59%であるということが分かりました。おおむね60%の洋式化率ができているんだなということが、ここで分かりました。

このように、現状の洋式化率を確認したわけでございますけども、この洋式化については、過去から継続をして質問、意見してるところですけども、10年前から比較するとどの程度進んでいるのか、進捗があったのか、教えていただけますでしょうか。

- 石原日出子議長 教育・こども部長。
- 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

学校トイレの洋式化率につきましては、平成25年度末では44%でしたが、現在は59%で、15%の改善を図ってきたところです。

以上です。

○ 石原日出子議長 大浦議員。

○ 22番 大浦まさし議員 はい、ありがとうございます。

ここ10年で15%改善ができたということで、これを聞いて市民の皆さんがどう感じるかですけれども、一定の改善が図られているということでございますが、私の地元の光明台から光明台中学校のトイレの洋式化率が低いのではないかとこの相談をいただいております。

先ほどの答弁で、令和5年度末の和泉市内中学校の洋式化率は54%ということでしたが、では、光明台中学校の洋式化率について、どのぐらいなのか教えていただけますでしょうか。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

光明台中学校の洋式化率は35%で、中学校では一番低い学校となっております。

以上です。

○ 石原日出子議長 大浦議員。

○ 22番 大浦まさし議員 はい、分かりました。

中学校の洋式化率の平均が54%である中、光明台中学校は35%と市内中学校の中では一番低いということが分かりました。全体からいうと平均からでも20%も低いということなんです。

このことから、地域を同じくする坂元純一議員も、どうしていくか、どうするか考えていけないといけないという話をいただいております、本当にそのとおりでなと思っておりますが、トイレ改修については、今後の予定としては、前に示されたように校舎の大規模改修時に行うという話でしたが、その考えにお変わりはありませぬでしょうか。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

学校のトイレ改修につきましては、校舎の大規模改修時に行うことを基本としておりますが、老朽化度合いや洋式化率等を勘案し、ブースを広げた上で、和式から洋式の便器に取り替える応急的な改修も並行して実施しているところです。

以上です。

○ 石原日出子議長 大浦議員。



【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

- 22番 大浦まさし議員 はい。トイレ改修については、大規模改修時に行うのが基本だけでも、老朽化度合いや洋式化率を勘案し、ブースを広げた上で、和式から洋式の便器に取り替える応急的な改修も並行して実施しておりますと、しているということが分かりました。

大規模改修は、数校一斉に、一遍にはできないと思いますので、1校よくて2校ずつになるのかなと思いますが、この大規模改修をしていただける順番とかは決まっているのでしょうか。

- 石原日出子議長 教育・こども部長。

- 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

大規模改修工事につきましては、和泉市教育施設等長寿命化計画に基づき、令和5年度から令和14年度までの10年間を目途に、20校40棟を対象に実施する予定としています。

なお、令和5年度には北池田中学校で大規模改修を実施し、今年度は、いぶき野小学校、令和7年度は国府小学校を予定しており、令和8年度以降の実施校については、現在、検討を進めているところです。

以上です。

- 石原日出子議長 大浦議員。

- 22番 大浦まさし議員 はい、よく分かりました。

近々改修の順番が来るのであればいいんですけども、まだ数年かかるということであれば、生徒のほうは待ってられないので、何らかの対応をお願いしたいのですが、さきの答弁で、老朽化度合い、それから洋式化率等を勘案して、また応急的な対応をしていっているということで、一番洋式化率の低い光明台中学校にも当てはめていただきたいのですが、もしそれが難しいのであれば、数年前に私のほうからトイレ洋式化の一般質問をさせていただいたときに提案をさせていただいたリフォームトイレであれば、簡易に設置でき、かつ安価なので、これで緊急対応していただけないのかお聞きいたします。

- 石原日出子議長 教育・こども部長。

- 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

議員御提案の簡易型・設置型の洋式トイレにつきましては、和式トイレでは用を足しづらい児童・生徒にとっては利用しやすい方法であると認識しており、過去に導入した実績もございます。

しかしながら、実際に導入した学校においては、便器に汚れがつきやすく掃除が大変であるとのことで、現在では使用していない状況にあります。学校から設置型のトイレでも希

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

望される場合には、弾力的に対応していきたいと考えております。

なお、光明台中学校については、洋式率が低いことを踏まえ、今年度、普通教室棟のトイレにおいて、男女各1ブースずつ和式から洋式の便器に取り替える応急的な改修工事を実施する予定です。

以上です。

○ 石原日出子議長 大浦議員。

○ 22番 大浦まさし議員 はい、ありがとうございます。

今年度、普通教室棟のトイレにおいて、男女各1ブース、和式から洋式の便器に取り替える応急的な改修工事を実施する予定だと、早速、明確な御答弁をありがとうございます。

実は、PTAの役員のお母さん方が協力してくれたことなんですけども、光明台中学校のトイレを調べましたところ、特別教室棟と普通教室棟の3階のトイレの洋式が何とゼロだったんです。今年度、普通教室棟の男女各1ブースを洋式便器に取り替えてもらえるということでございますけども、まだまだそれでも洋式化率は低いままだと思います。特別教室棟においてもさすがに今後もゼロのままでは困りますので、こちらも同様に御検討いただきたく思います。

今やトイレはどこへ行っても洋式です。今回は光明台中学校を例に挙げて話してしまいましたが、トイレは生活において重要なので、何とかお願いをしたいと申し上げて、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○

○ 石原日出子議長 次に、議席番号24番・友田博文議員。

(24番・友田博文議員登壇)

○ 24番 友田博文議員 通告に従いまして、質問させていただきます。

最後になりました。20番目の本当に最後になりました。皆さん方には大変長い時間、話を聞いて大変だろうと思いますけども、もうしばらくよろしく願いいたします。

それでは、通告に従いまして質問内容をいたします。

まず、今回は、人口ビジョンについての中から、出生率、ゼロから2歳の無償化、子育て環境等を質問します。

2番目として、榎尾学園について、3番目、アグリセンターについて、4番目、介護について、5番目、和泉警察署の建設用地についての5問です。

それでは、人口ビジョンについて質問させていただきます。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

議員の皆さんが、人口ビジョンについて何回も質問されているんですけども、同じことはなるべく避けてやりたいと思ってますので、よろしくお願いします。

まず、子どもの出生率、これ現在、令和5年度は1,073人となってるんですけども、これもう1,000人を下回るのはもう目に見えてると思うんですけども、いつ頃になるかということと、もう続けてやらせていただきます。

人口の推計として、傾向を整理したとありますけども、何ができてきたのかということです。

それと3番目として、3区分別人口を見て何が今必要なのかということ質問させていただきます。

あとは質問席で質問させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○ 石原日出子議長 市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田です。

人口ビジョンをこのたび、総務企画委員会協議会のほうで案を出させていただいております。そちらを分析しております、出生数につきましては、平成25年度から令和5年度までの実績を踏まえて推計をいたしますと、令和8年度に1,000人を下回る推計として978人という推計をしております。

それから、この人口ビジョンの傾向を整理して何が見えるかというところで、人口減少については全国的な傾向ではありますけれども、本市におきましては、大阪府内の団体との比較ではやや人口減少率が低いものの、厳しい推計と捉えております。今回の推計人口を上回ることを一つの目標として施策を講じていきたいと考えております。

また、この人口3区分を見て何が必要と思うかというところで、65歳以上の老年人口だけが増加しまして、生産年齢人口、年少人口が減少するという推計であります。老年人口におきましては、健康寿命を延ばしまして、自分らしく生き生きと生活できる環境づくりと併せまして、希望する方については、年齢に応じた仕事を続けられるような環境が必要と考えております。

また、生産年齢人口、年少人口の減少に対しましては、本市への転入を増やし、本市からの転出を減らす定住促進の取組が重要性を増してくると考えております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 はい、ありがとうございました。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

令和8年に出生数が1,000人を下回ってくるということなんですけども、これも大変なことだろうと思います。若い世代の人たちがどんどん減っていくということになると思うんですけども、これ出生率の関係と人口ビジョンの関係とで集計したのが、最近では、絵では今までのピラミッド型から逆にはなっていないけども、つぼ型という格好になってきております。これを見ても、将来の和泉市の人口が大変やなということはよく分かってくると思います。

その中でも、私の住んでいる南部、横山、南横山、南松尾もそうか分かりませんが、大変年寄りが多い少子高齢化の真ただ中にあると思うんです。そういった面で、この人口ビジョンをきっかけに、新しい形で政策を考えていっていただきたいなというふうに思っております。人口ビジョンのほうはもうそれで終わっておきます。それに関連して、何個か質問させていただきます。

ゼロ歳から2歳のこれも人口を増やすためにひとつ必要なと、これからの時代はそうじゃないかなと思うんですけども、いろんな議員からも質問ありましたけど、ゼロ歳から2歳という形の無償化というのは、もうちょっとなんですけども、全国的にも出生率は1.2と、和泉市の出生率は、この前の山本議員の話では1.24という話になってますから、もう全国的な出生率に近づいてるということになるんですが、そういった意味で、やっぱり今、前田公室長からお話あったように、やっぱり他所からの人を取り入れていかないとということはあると思います。

これもやっぱり自治体競争の中で、いろいろとどこの市も一生懸命取り組んでいることだと思うんですけども、そういった中で、国のほうもテレビや新聞を見てると、早く何とかせないかんというふうな話になっているように思います。

どっちにしても、世界を見ても出生率の関係は、どこの国でも同じだと思うんですけども、様々な対策を取ってるということも聞いてますが、和泉市においては、やはりゼロ歳から2歳の無償化は早急に取り組んだほうが、将来のためにも必要じゃないかなと思うんですけども、その点について御答弁お願いします。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

守口市など他市が実施しているような所得制限なしでのゼロ歳から2歳児の保育料の無償化などの保育料の負担軽減策の拡充については、少子化対策を進める上でも有効な施策の一つではあると認識しており、本市でも他市の状況把握など、研究を進めている状況でございます。

ます。

また、保育料の負担軽減策を拡充するためには、相応の財政負担も伴うことから他事業とのバランスを勘案した検討が必要と考えております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 なかなか取組、難しいと思うんですけど、やはりこれほどことも競争してることで、それはもう私は早くしたほうがいいなと思います。和泉市の教育としては、教育委員会としては、それはまだ時期早尚やと考えておられるんですけども、やっぱり後からやっとならよかったなと思われんようにやっていただきたいなと思っております。

続きまして、保育料の無償化について、やっぱり研究を進めていただくということですけども、安心して子育てしていくためには、保育所だけでなく妊婦、出産の段階から手厚い支援が重要となってくると思っておりますが、現在の妊産婦に対してどのような支援を行っているのか、教えてください。

○ 石原日出子議長 子育て健康部長。

○ 藤原一也子育て健康部長 子育て健康部長の藤原です。

妊産婦への支援といたしまして、妊娠届出時に保健センター並びに保健福祉センターで母子健康手帳の交付と併せ、妊婦健診14回分の受診券と妊婦歯科健診受診券、産婦健診受診券等を発行しております。

産科医療機関等で妊婦健診を受診する際にこの受診券を使用すると、一部公費負担で受診いただけます。妊婦健診の公費負担額は12万円となっております。

また、令和4年度から出産・子育て応援ギフトとして、妊娠と出産でそれぞれ5万円、合わせて10万円分のプリペイドカードを交付し、出産準備、子育て等の費用に御利用いただいております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 これを聞いて、十分なサービスをやっとな違ふんかなと思ったりしてるんですけども、国ではこれを国保で扱おうと、出産をね。和泉市は50万円ほど出産のときには出してるということですけども、そういうのを保険で対処していこうという方向を今考えているみたいなんですけども、今とその保険と比べた場合は、どっちが出産費用に関係

してはいいんでしょうかね、私もちょっと分かりませんねんけど、教えていただけたら。

○ 石原日出子議長 子育て健康部長。

○ 藤原一也子育て健康部長 子育て健康部長の藤原です。

出産費用につきましては、産科医療機関ごとに異なってございまして、市内の産科医療機関では、ホームページ等によりますと約55万円程度というふうになってございます。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 55万円であったかて、こういうサービスをしていたら、今のほうがええように思うんやけども、保険が入ったらどうなるかなと。1割負担なのか無償なのか、ちょっとその辺は分かりませんが、あまり変わらないんかなということになると、もっと和泉市の出産費用の関係について、今、和泉市がこんなサービスをやってますよというてもっとPRをしたらどうかなというふうに考えてます。一度また検討していただければと思います。

続きまして、妊産婦の支援について、出産費用への支援について、現状の状況と国の動きがあれば教えてください。今ちょっと話しましたが、答弁してください。

○ 石原日出子議長 市民生活部長。

○ 立花達也市民生活部長 市民生活部長の立花です。

現在、国民健康保険や社会保険の被保険者等が出産したときは、出産育児一時金50万円が支給されます。

国においては、正常分娩に係る出産費用について、令和8年度をめどに公的医療保険適用の導入を含め、出産に関する支援等のさらなる強化に向けて検討会が設置される予定と聞いております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 そのときはよろしく願いいたします。

続いて、人口減少への対応策として様々なことをやってると思うんですけども、定住促進策に取り組んでいただけてると思いますけども、今現状ではどんなことをしているのか、今後どうしたらええのかということが分かれば教えてください。

○ 石原日出子議長 市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田です。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

本市における移住・定住施策として、2種類の補助制度を実施しています。

1つ目は、南部地域等移住定住支援補助金で、横山小学校区、南横山小学校区、旧南松尾小学校区のうちの市街化調整区域に移住・定住する子育て世帯を対象に、住宅購入費用等の支援を行うものです。令和4年度から始めた制度で、令和4年度は42人の移住・定住で1,420万円を支出し、令和5年度は39人の移住・定住で1,465万6,000円を支出しました。

2つ目は、結婚新生活支援補助金で、39歳以下の新婚世帯に住宅購入費用等の支援を行うものです。直近2年間の実績は、令和4年度は38件で1,064万6,000円を支出し、令和5年度は35件で1,440万円を支出しました。

今後におきましては、冒頭申し上げましたとおり、この推計人口を上回ることをめざして施策を考えていきたいと考えております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 いろいろ政策をやっていただいて、徐々にではあるけども人口、地域へ移り住んでくれているというのもこれは成果として大変ありがたいことです。

それ以上に、この人口ビジョンでありますように、我々の地域によっては、若い世代が出ていって年寄りが増えてきた、子どもがいなくなったと、それがもう顕著に表れてるので、目に見えてこうやということはなかなか難しいと思ってるんですけども、もっとほかにやり方を抜本的に考えてもらいながら、地域の活性化、また、人口の増につなげていただきたいなと思っております。

1つとしては、南部地域の場合は外環がありまして、南部地域のまちづくり、これも市長が一生懸命取り組んでいただいたと思うんですけども、そういった意味で、大変喜んでるんですけども、調整区域の中でやるとなかなか住宅業者が入ってこれないということもありますから、市街化区域も含めて抜本的な考え方を整理していただいたらありがたいなと思っております。また、今後とも検討のほどよろしく申し上げます。

順番が狂うか分かりませんが、よろしく申し上げます。

介護者の負担軽減について、これはちょっと地域から話があったんですけども、家で老老介護していると、老老介護したら大変やということで、いろいろと市でもいろんなことはやっていただいているんですけども、もっとほかに老老介護をしやすい、例えば奥さんが痴呆になってどないもでけへんと、御主人が面倒見ると、その面倒見るに当たって、今、施設や訪問介護とかデイサービスとかいろいろあるけども、やっぱりもうそういうところへ行かんと、

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

夫婦でどちらかが見ていくということになると、何かそういう費用的なものでサービスを提供してくれることはないのかというて、そういうお話があって、一回議会のほうで話してほしいという話がありましたので、そういった面でどういう話になってんのかお聞きいたします。

○ 石原日出子議長 福祉部長。

○ 西川加恵福祉部長 福祉部長の西川です。

介護保険制度では、所得に応じ1割から3割の自己負担で、訪問介護、通所介護、ショートステイ、住宅改修、福祉用具の貸与など、在宅で利用することができます。

介護サービス以外では、対象となる要件はありますが、紙おむつの給付や緊急通報装置の貸与、軽微な住宅改修費用の助成などがあります。

介護にかかる費用への助成につきましては、介護保険制度内で自己負担が重くなった際には、所得に応じて自己負担額の限度額を超えたときに超過分が支給される高額介護サービス費支給制度や、同一世帯で介護保険と医療保険の両方を利用して、介護と医療の自己負担額が限度額を超えたときに、超過分が支給される高額医療・高額介護合算制度があります。

また、要介護4または要介護5に該当する要介護認定者で、過去1年間に介護サービスを利用しておらず、かつ90日以上医療機関に入院していない方を日常的に介護している非課税世帯の家族介護者に、慰労金として要介護認定者1人につき10万円を支給する家族介護慰労金制度があります。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 はい、よく分かりました。

今の現状ではそうだろうと思うんですけども、これも夫婦でどちらかが長年連れ添った中で、夫が妻を見るとか妻が夫を見るとか、それは十分考えることなんですけども、非課税世帯に10万円を払うというんじゃないに、そういった面をもうちょっとサービスを向上させていただけるようなことが考えられたら検討していただきたいということをお願いしまして、この項は終わります。

続きまして、榎尾学園についてお願いいたします。

榎尾学園の開校が近づいてきたんですけども、数字的には大変驚いていることがあるんですけども、まず、榎尾学園についての来年度開校についての今の子どもの、学生の1年生から9年生の数字についてお示し願いたいと思います。



【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

まず、令和7年4月、（仮称）榎尾学園に、地元の就学区域となる児童・生徒の人数について答弁いたします。

現横山校区は、前期課程で115人、後期課程で75人、合計190人で、現南横山校区は、前期課程が20人、後期課程が12人、合計32人で、横山・南横山校区を合わせて総計222人が就学予定です。

次に、特認制度により募集する児童・生徒数ですが、地元の児童・生徒数の関係から最大206人の募集定員となるところ、既に前期課程120人、後期課程37人の合計157人の就学予定者を受け付け、1年生、2年生、5年生、7年生については既に定員に達しています。

このことから、現時点では令和7年度、（仮称）榎尾学園の児童・生徒数見込みは379人となっており、今後については3年生、4年生、6年生、8年生、9年生の合計49人について、引き続き追加募集を行う予定です。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 ここでちょっと気になったのが、南横山の小学校の生徒が、特認校の生徒の皆さんが、榎尾学園へ希望している方が少ないように思うんですけども、これは今現在20人としたら、今4年生、5年生、6年生どれだけ外から来てるか分かりませんが、その割合にしたら、榎尾学園へ希望する方が少ないように思うんですけど、その辺はどうでしょうか。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

令和6年度の特認生の状況でございますけれども、小・中学校合わせましての人数になりますけれども、令和6年度、榎尾中学校区では、地元206人に対し特任児童・生徒が116人となっております。

つきましては、先ほど御答弁いたしました来年、令和7年度の予定ですが、特認の児童については、令和6年度116人に対し157人となる予定でございます。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 いや、それは分かったんですけども、今の特任の子どもが、榎尾学園

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

に行く方が、希望される方が、4年生、5年生、6年生の子どもたちはあまり希望されてないのか、どのぐらいの率で来るのか、ちょっとその辺分からないんで教えていただいたらと思うんです。分かりませんか。

○ 石原日出子議長 教育・こども部長。

○ 東 直樹教育・こども部長 教育・こども部長の東です。

議員御指摘のとおり、3年生、4年生、6年生というところが定員に達してないところでございますけれども、現状の事務局での分析といたしましては、やっぱり1年生とか中学1年生とかというきっかけになる年については希望者が多いという分析してございまして、やっぱり年度途中の転校というところも要因となって、3年生、4年生、5年生、とりわけ6年生、9年生というところは定員に達していないという分析してございます。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 はい、よく分かりました。

これからもちょっと、もうちょっとですけれども努力していただいて、何とか希望どおりの数字になっていくようお願いしたいと思います。

次に、アグリセンターですけど、アグリセンターが開業、開校、開園して2年を迎えるようになってるんですけども、アグリセンターで、新しい農業をめざす人の学校を開いてるのもよく分かってますし、隣でその人たちが農業やってるのも、勉強してるのもよく見えてるんですけども、もともとのアグリセンターを考えたときのことを考えると、今たくさん我々の地域でも全体的でもそうですけども、なかなか農業をめざす人が少ないんです。

農業をめざしたところで、なかなか生活できないというようなことになりまして、大規模でやったら投資額が大きくなって怖いという面で、なかなか若い人たちも手添えてこないというような状況があるんですけども、そういった中でも、和泉市は農業についてはもうかる農業、もうかる農業いうて今までずっとやってきたんですけども、そのもうかる農業をするためには何をしたらええのかということ、もう2年たってきたんやから、そういう意味で和泉市の特産的なものも考えながら、やはり研究開発をしていただいて、和泉市に農業者に利益をもたらしていただきたいと思うんですけども、その辺の考え方をお願いします。

○ 石原日出子議長 環境産業部長。

○ 山崎光一環境産業部長 環境産業部長の山崎です。

将来にわたり市域の農業が持続発展していくためには、最も大きな課題の一つが担い手の

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

確保であります。若い方が農業を志すためにも専業として成り立つこと、さらに言えば議員おっしゃられるように、もうかる、魅力ある農業としていく必要がございます。

大変難しい課題ではありますけれども、そうした中で、アグリセンターにおきましては、今年度からBLOF理論と言われます食物生理や土壌分析に基づいたアミノ酸やミネラルの供給、そして、太陽熱養生処理による土壌改良を基にした有機農法により、ホウレンソウなどの葉物野菜に取り組んでおります。

一般的には有機栽培は手間がかかる、収穫量が減るなどが上げられますが、この手法では、高品質、高栄養の作物を高い収穫量で栽培することができるのとこととで、現在、地域の農家の皆さん方と実証実験を行っているところでございます。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 実証実験やってくれるのはええんやけど、ホウレンソウを作って、どれだけの収益を得られるか、どれだけの体を使わないかんのか。人を雇えるかといったら無理なんですよな。せやから、そういう単なる地域に何を根差して、言うたら和泉市に何をもちたらすかということになるとホウレンソウでは無理ですよ。ホウレンソウも、国分町へ行ったら井坂さんというのがハウスでやってるけど、それはそんなん簡単なものじゃないですよ。

そういう農業に関しては大変難しいというのはよく分かるんですけども、やはりできるだけ簡単で、高収入を得られるというものをやっぱり見つけて、それを言うたら改良していつて、皆さんが飛びつくようなものを作っていくと。それが簡単に多くの人ができるというようなものが大切かなと思ったりしてるんです。

私この前テレビで兵庫県のやつ見てたんですけども、トウモロコシやってましたけど、トウモロコシの糖度が20%を超えてたように思うんですけども、1日5,000個取って、道の駅で2,000個売れると、飛ぶように売れると。3,000個はネット販売するというようなことで、相当な量を作っているというようなことをテレビで見ました。

和泉市でも横山のほうでもイチゴはもう十分やってると思うんですけども、トマトも栽培して、トマトも相当な量を取ってるけども、なかなか投資のほうが多くて収益につながっていかないんです。それはもう必死で皆頑張ってますけど、なかなか思うようにいかないというような状況です。

そんな中で、今たくさんの農地が遊んでるといふか、よう作らんのです。そういったとこ

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

ろをやっぱり、ああやったらもうかんやというような形で、多くの皆さんに、年寄りの皆さんも、指を使ったら相当健康にええらしいんで、年寄りでもできるような仕事をいっぱいつくって、道の駅へ持って行って、葉菜の森も国華園もあるし愛彩ランドもあるし、そういった面も含めてやっていただきたいなど。もうちょっと素早く、もう2年もたったんやから、そういった面で、和泉市に農業者の利益につながるようなことをやっていただきたいと思っております。

またもう一つは、ららぼーとのファーマーズがこの10月で閉めるという話も聞いてます。これも私は週に1回ぐらい行くんやけども、大変はやってるのに何で閉めんのかなど。これも難しいなと思いながら、そういった売り先が1つ減っていくというのは、寂しいことですが、これからももうかる農業を含めて一生懸命、農林の皆さんには気の毒やけども頑張っていて、地域の皆さんの和泉市の皆さんの農家の皆さんのためにも、また、消費者の皆さんのためにも頑張っていたきたいということをお願い申し上げまして、この項は終わります。

続きまして、警察署の用地について質問させていただきます。

これは2回目になりますので、そういった面で、私もこの件については、地権者の方からも、どうしても納得いかないという話で持ってきていただいて、何とか話を議会のほうでしてほしいという話なんです。そういった面で、再度質問させていただくことにしたいと思えました。

そこで質問させていただきます。

私は、今回の土地売却、無償貸付けはおかしいと考えています。何でというたら、この土地は放置してきたのか、なぜ警察に無償貸与するのか、私には分からないんです。

そこでお聞きします。

この土地は、土地開発公社から買い戻したと思いますが、その時期と地価価格について、帳簿価格についてお聞かせください。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

市は、この土地を平成21年度に土地開発公社から約15億9,000万円で取得しておりまして、その額は、当時の公社の帳簿価格に10%の附帯事務費を加えた額となります。

以上でございます。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 これはそのときに、今15億円と言うたかな、そのときに買った値段

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

ですか。そうですか。じゃ、利子も何もつけらずにそのままの買った値ですね。帳簿価格と  
いうのは。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

帳簿価格でございますので、利子が乗った形の最終的な額となります。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 そしたら、もともとの買った値というのは幾らになるんですか。

それはもういいですわ。

この土地は、50年頃から盛土をされたという答弁がありましたけども、それでこの前も聞  
きましたけど、誰がここで土を盛土をしたのかと聞いたら、誰も分かりませんと言うん  
ですけども、これ今15億円もの帳簿価格になっているものを誰がそこへ物を入れたか分から  
ない、分からないで済ませるものなんですかね。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

根拠となる資料が残っておりませんでして、確認できない状況でございます。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 根拠がないと、これらの根拠がない、資料が残ってない、そしたら、  
聞けばいいんじゃないですか。市の関係した、これに関係した買ったときから、公社が買う  
たんやけど、公社が買ったときから、これに関連するいろんな事業があったと思うんやけど、  
そのときにどういう格好でここを埋めたかということ聞けばいいんやし、そんなんをこれ、  
そのときにこれ管理責任というのは誰にあるんですか。これ公社でしょう、管理責任とい  
うのは。公社の責任者というのは市長でしょう。これ管理責任があるん違うのか。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

公社の土地の管理責任につきましては、その時々公社の担当職員にあるものと考えてお  
ります。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

- 24番 友田博文議員 いや、それはそうなんですよ。せやけど、その管理、公社の人たちはもう辞めてしもうてどないもならんと。私は聞けばええと思うんやで。せやけど、その管理責任者というのは市長やったん違いますか。公社の管理責任者は誰やったんですか。
- 石原日出子議長 総務部長。
- 土本修一総務部長 総務部長の土本です。  
土地開発公社の一番の管理の責任者につきましては、市長でございます。  
以上です。
- 石原日出子議長 友田議員。
- 24番 友田博文議員 これは管理責任あると思うんですよ。まして15億円ですよ。それを分かりません、知りません、そんなことでこの世の中通るんですかね。市長、どうですか。  
あなたが管理責任者です。
- 石原日出子議長 市長。
- 辻 宏康市長 市長の辻でございます。  
適正な処理をしていきたいと思います。  
以上です。
- 石原日出子議長 友田議員。
- 24番 友田博文議員 聞こえません。しっかり大きな声で物を言ってください。
- 石原日出子議長 市長。
- 辻 宏康市長 市長の辻でございます。  
適正な処理を行っていきたいと思います。  
以上です。
- 石原日出子議長 友田議員。
- 24番 友田博文議員 適正な処理を行ってきたと言ったんですかな。行っていきますと言ったんですか、どちらですか。
- 石原日出子議長 はい、市長。
- 辻 宏康市長 市長の辻でございます。  
適正な処理を今後も行っていきたいと思います。  
以上です。
- 石原日出子議長 友田議員。
- 24番 友田博文議員 いや、私、聞いてんのはそうじゃないんですよ。今後じゃないんで

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

すよ。今この問題起こってんですよ。これを等価交換したんでしょう。等価交換した、それが問題が起こってんでしょう。それを起こしてるのは市長ですよ。

私は何も市長にどうやこうやないんですよ。せやけど、この問題を市とその隣の袋地の地主と起こしてんのは、市であり市長であるんですよ。それは分かっと思ってくださいね。

じゃ、その辺はちょっと置いといて、この盛土の中には瓦礫が入ってた。私が聞いたのはプラスチックやガラスやいろんなものが入ってて、産業廃棄物やという話になってるんですけども、この前も質問では産業廃棄物やという話になったと思うんですけども、それは確認ですけど、間違いはないですか。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

議員御指摘のとおり、土の中には一部コンクリートがらが確認されましたので、これについては産業廃棄物に該当いたしますので、法律に基づき適正に処理したものです。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 瓦礫は分かるわな。ユンボで取ったら瓦礫が出てくんやからな、どんな瓦礫か知りまへんで。瓦礫も小さいものから大きなものいろいろあるんですけども、この中にプラスチックやガラスやらいっぱい入ってたというんですよ。これもう何十年、昭和50年からやってんやから、もう相当昔で雨風にさらされて、草が生えて木が生えて、もういろいろ土の中やから色が分からんようになってきてると思うんですけども、そういうのをきちっとこれ調べたんですか、調べてないんですか。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

産業廃棄物につきましては、いわゆる産業廃棄物管理票、マニフェストが提出されておりますので、そちらに基づいて管理しております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 マニフェストはどうなのか私は分からへんけども、そういうプラスチック類とかそういうのがあったんですか、現状には、なかったんですか、調べたんですか、どうなんですか。

○ 石原日出子議長 総務部長。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

その内容につきましては、ほとんどのものがコンクリートがらでございまして、そのほかアスファルトがら等も含まれていたというふうには賜っております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 いや、そういうのは目に見えて分かるんよ。誰もが見える。

それから、ユンボで掘ったら分かるし、今すくって網でばあつとやったら皆出てくんや。これ瓦礫の場合よく分かるんよ。そんなんもひょっとして大きなやつあったんかも分からへん。そやけど、プラスチック類とかそういうのは分からへんのや。分かりますか。

そういうのはあったのかなかったのかということをもまず聞いてんです。これ総務部もあつたと、埋めてたときにいっぱいやってたという話があるから聞いてんですよ。それをちょっとその辺のところを調べてなかったら調べてない、あつたんやったらあつた、それを簡単に答えてくれたらええんです。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

議員御指摘の点につきましては、先ほど申し上げましたマニフェストに全て記載されておりますが、今手元に資料はございませんので、お答えいたしかねます。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 それは、部長はまだ行ったばかりで分からんと思うんやけど、公室長どうですか。

○ 石原日出子議長 市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田でございます。

権限外になりますが、前職のところでお答えいたしますと、先ほど総務部長答弁されましたとおり、コンクリートがらというのは確認されたというのは分かっております。プラスチック、ガラスというのは、報告はいただいております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 だから、実際に横で見てた人が言うてるんよ。あんた、見てたか。

隣で田んぼ作ってる人がそれを見てるやないの。あつたでと言うてるんや。そやから、それ



【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

をちゃんと調べるのは、今言うたようにコンクリートやらみたいなのはすぐに分かるんよ。腐らへんし、大きな……。そやけどほかのものはなかなか見つかりにくい、時間がたつとね。それをちゃんと調べたか、調べてないかと言うてるだけよ。調べたんか。

○ 石原日出子議長 市長公室長。

○ 前田正和市長公室長 市長公室長の前田でございます。

こちらの土地については、令和3年、4年にかけて、土壌汚染の対策工事を実施しております。その際には、盛土を除去する、また、地下に含まれておりましたフッ素を除去するといったところで、土壌を除去いたしております。そのときに、土壌に関しては適正に処理しております。一部コンクリートがらが確認されたというところがありますけれども、その中に……

(「議長」と呼ぶ者あり)

以上です。

○ 石原日出子議長 答弁の途中でですけどよろしいですか。

○ 24番 友田博文議員 答弁繰り返すんやったら話にならへん。

○ 石原日出子議長 申し上げます。友田議員、もう少し冷静な対応でよろしくお願ひしたいと思ひます。

○ 24番 友田博文議員 何て言うたか。

○ 石原日出子議長 冷静な……。

○ 24番 友田博文議員 冷静です。

○ 石原日出子議長 はい、よろしくお願ひいたします。

○ 24番 友田博文議員 そっちが冷静違うねん。それは同じ答弁繰り返さないかんかだけの話やねん。そういうことで、きちっと調べてないということやねん。

これは時間も迫ってきたんで、ちょっと飛ばしながら話しさせてもらわなしようがないけれども、盛土をされてるんやけども、もともと道路と田んぼの高さというのは何ぼあったんですか。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

この土地につきましては、昭和47年に和泉市土地開発公社が購入した土地でございます、地目は田であったと認識しておりますが、当時の資料が残っておりませんので、もともとの高さについては把握できておりません。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 前にも言うたような気もするんやけど、高さが、私ら見たところやったら1メートル50ぐらいあったかなというふうに思うんやけども、この田んぼの中へユンボが入って土を上げてたという話があるねん。そうすると、この田んぼの高さに埋めたん違うねんな。新しいいい土を取って、そこへどンドン埋めたということになるんやな。

これが5メートルまで調査したと、フッ素が出たところ、5メートルまで調査したという話になってんやけども、埋めたのは、埋立てされてたのは、道路の高さから5メートルまで盛上があったんですか、残土があったんですか、産業廃棄物があったのか、その辺どうなんですかね。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

令和2年度に調査を行いましたときに、道路の高さから、議員御指摘のとおり、地下5メートルのところまで調査しております。

なお、盛土につきましては、道路の高さから一番高いところで約2.3メートルの盛土があったと確認しています。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 そうすると、ここの捨てた土、すごい量になるん違うのか。想像つかんけどな、山崎部長、どうですか、あんたところ関係するんやけど、産廃、あんたところやろう。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

盛土の量につきましては不明ではございますが、土壌汚染対策工事においては、地下の部分の土壌も含めて約9,000立方メートルの土地を運び出しております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 いや、それは5メートルまでの計算でやったんか、9,000立方メートルってダンプで何台ですか。

○ 石原日出子議長 答弁できますか。

総務部長。

- 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

把握、現時点でお答えいたしかねますので、後ほど議長と相談の上、対応させていただきます。

以上です。

- 石原日出子議長 友田議員。

- 24番 友田博文議員 大体ダンプで5立方メートルと言うのかな、そしたら2,000台や。それをもしひょっとして3,000台入ってんか、4,000台入ってんか分からへんやん。それだけ下を掘ってて、あんたところ計算したのは、何メートル下から計算したのか分からんけども、せやけども量的には2,000台以上ダンプが入ったということになるんや。大変な量ですよ。

もう鳴った。早い。

じゃ、次に、無償貸与について聞きます。

これ大阪府になるか、和泉警察署になるかちょっと分からんけど、大阪府に無償貸与したと思うんやけども、等価交換して無償貸与したら、無償貸与する理由は分かりましたが、無償貸与する団体やということが無償貸与してるというのは分かりましたけど、こんなん同時にやるときに、普通やったら買うてもらうのが普通違うのかなと思うんやけども、何で無償貸与するんですか、何で買うてもらわないんですか。

- 石原日出子議長 総務部長。

- 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

まず、今回につきましては、土地交換とそれから無償貸与というふうな形で対応しておりまして、まず、土地交換部分につきましては、和泉市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例第2条第2号に基づく……

(「議長」と呼ぶ者あり)

- 石原日出子議長 答弁の途中ですけど、よろしいですか。

友田議員。

- 24番 友田博文議員 そんな話聞いてん違うんや。何を聞いているかいうたら、何で無償貸与するのかと聞いてんねや。

同時にするときには一緒に買うてもらうたらええのに、何でほんなら初めから決めてたんかということになるやん。おかしいやないか。あんたらよって大阪府に、これだけ等価交換します、この分は無償貸与します、そんなん初めから決めてたということかということになるん

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

や。おかしいやないか、何で大阪府に買うてもらわへんかったか、端的に聞いてるだけやで。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

警察施設の公共性に鑑みて無償貸付けとしております。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 市長、何でなんですか。

○ 石原日出子議長 答弁はどなたに求めますか。

○ 24番 友田博文議員 市長。

○ 石原日出子議長 市長。

○ 辻 宏康市長 市長の辻でございます。

先ほど部長が申し上げたとおりであります。

以上です。

○ 石原日出子議長 友田議員。

○ 24番 友田博文議員 ほんだら、あんたはおかしなことしてんのか。勝手に、あんた大阪府ってこれだけ等価交換します、これだけただで渡します、先もってそんな契約したのか。おかしいん違うのか。こんなもの先買うてもらわなあかん。そんなん総務部長の言うたとおりですと、そんな話にならへん。言うても隠すようから言いませんけどね。

それと、これ等価交換と言うてるけども、これ15億円前後のお金を和泉市が欠損してるんですよね。これ欠損ですわな、どうなんですかね、それ教えてください。

○ 石原日出子議長 総務部長。

○ 土本修一総務部長 総務部長の土本です。

市は、土地開発公社が保有しておりました期間の経費、金利を含む帳簿価格で取得したところでございますけれども、取得額と売却額を比較して利益を生むというふうな考え方ではございませんでして、活用されていなかった土地を……

○ 石原日出子議長 質問時間の60分の持ち時間が来ましたので、これで議員の一般質問を終了いたします。

○

#### ◎散会宣告

○ 石原日出子議長 以上をもちまして、一般質問は全て終了いたしました。

【速報版】校正前原稿のため公式な記録ではありません。

お諮りいたします。本日はこれにて散会いたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

なお、明日27日に議案審議を行いますので、定刻御参集くださるようお願いいたします。

それでは、本日はこれにて散会いたします。

(午前11時27分散会)

---

○

会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

和泉市議会議長      石 原 日出子

同 署 名 議 員      原      重 樹

同 署 名 議 員      末 下 広 幸